

● 世界の主な火山活動

平成 25 年（2013 年）8 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

パルウェ (Paluweh) インドネシア (図中A) 標高 875m

10 日、パルエの溶岩ドームの一部が崩壊し、火砕流が海辺の村に向かって北へ流れ、少なくとも 5 人が死亡した。噴火は 7 分間継続し、火砕流は最初の噴火の後何時間も報告された。噴煙が海拔 4.3km の高度まで上昇し、西へ 130km 流れた。噴火前に強制避難命令が出されていたが、1 万人近くが島内に残っていた。

11～12 日にかけて、火山灰の噴煙が海拔 1.8km の高度まで上昇し、西へ 110～130km 流れた。地面は厚さ 10～20cm の火山灰に覆われた。噴火は 12 日には小規模になったが、火砕流は引き続き観測された。

サンタマリア (Santa María) グアテマラ (図中B) 標高 3,772m

今期間、サンタマリアのサンチャギト溶岩ドームにおいて、活発な爆発的噴火が継続し、火口縁の崩壊に伴う火砕流や溶岩流がたびたび発生した。噴火の爆発音は 20km 離れた所まで聞こえ、10km 以内の範囲では空振により建物が振動した。噴煙は最高で海拔 4 km の高度まで上昇し、火山の南の地域で降灰が観測された。11 日の大雨により、サンイシドロ - タンボール川では幅 30m、厚さ 1.5m の火山泥流が発生した。

(以上、米国スミソニアン自然史博物館の G V P (Global Volcanism Program) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針 (参考編)」による。)

